

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	第4回寒川町学校給食センター整備外部検討委員会		
開催日時	令和元年5月8日（水）15時00分～16時40分		
開催場所	寒川町役場議会第1会議室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>■出席者 長沼委員、古山委員、岩井委員、山崎委員（委員長）、中村委員、鈴木委員、柏木委員 （出席者名は要綱の順による）</p> <p>■欠席者 三木委員（副委員長）</p> <p>■傍聴者 5名</p>		
議 題	（1）寒川町学校給食センター整備基本構想・計画 事業手法の検討、配送校における工夫、整備スケジュール等		
決定事項	—		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>議題 （1）寒川町学校給食センター整備基本構想・計画 事業手法の検討、配送校における工夫、整備スケジュール等・・・資料1</p> <p>【事務局】 資料1「寒川町学校給食センター整備基本構想・計画」内の前回からの変更箇所、事業手法の検討、配送校における工夫、整備スケジュール等を中心に説明を行った。</p> <p>＜前回からの変更箇所について＞</p> <p>【委員長】P53の前のゾーニング図では食材の搬送配送が全て西側からだったが、東側からも可能ではないかと判断して作成し直したという理解でよいか。また、スケールは現実の大きさを想定して作成したということによいか。</p> <p>【事務局】そのとおり。</p> <p>【委員長】変更箇所を確認すると、前は、搬送配送が全て一方から処理されていたので、2階3階のそれぞれのゾーンが汚染と非汚染のゾーニングが理想的ではなかったが、アプローチを含めて事務局に修正いただいた。こちらに関して意見はあるか。</p> <p>【鈴木委員】3階建てのゾーニングは良くなっているということである。</p> <p>これも一例で広さとか配置はかわってくるということと、前回の説明で、炊飯の米の配送や揚げ物の油の搬送も自動でできるとのことで、2階で調理するのも可能な面があると思う。しかし、複層階のセンターを見学した際に聞いた話では、縦動線があるため平屋（1階建て）の給食センターに比べ配置人員が増えるとの</p>		

ことであった。また、上下の移動があるため、献立のメニューが制限されるというのでも聞いて課題が多く複層階にするメリットはないと聞いた。現に3階建てのセンターもあまりなく、働く側の立場からすれば平屋で作っていただきたい。

この候補地は土地が4,000㎡あるし、少し時間がかかることがネックでも計画の段階から現在の敷地（建築可能面積が1,700㎡）で妥協せずに、利用可能な土地を少しでも広げておくことで、今まで検討してきた町の方針により沿っていくのではないかと。今以上の給食提供を掲げているので、今以上の衛生管理や動線確保などをしていく上では、もう少し土地を広くしておけばできることの可能性を広げられると思う。

栄養士部会からの要望ですが、3階建てにする場合は、複層階による課題も多いので、少しでも広い土地の確保であるとか人員の確保とか最新の機器を取り入れることが必要であるということを入れていただきたい。

【委員長】これまでの委員会でも敷地の候補について検討してきた。広い敷地に整備することが理想であるが、敷地確保が難しいという現実もあり3層での案が出てきたと思う。前は動線等のゾーニングに課題があったので、修正してもらった経緯がある。

まだ、設計に入っている段階ではないので、これが確定ではないと思う。設計に対する要望か。又はゾーニングに対する要望か。具体的にどのように要望を反映する形がよいか。

【鈴木委員】3階建ての案を外部委員会として承認するというのであれば、設計に進むにあたっての配慮事項として3階建てとする場合は留意事項を記載してほしい。

【事務局】P.54に厨房機器等案で「機器の種類や処理能力について検討する必要がある」と記載しており、運営面については運用部会等で今後検討するので、いただいた意見はこの部分にご指摘の意図を含めていると考える。

【委員長】基本構想の中で具体的な面積等をしめす場合もあるが、この中では具体的な大きさとか機能の関係性とかは、このゾーニングがベースになっている。このあたりは設計側の条件で整理してもよいかと思うがどうか。

【事務局】ゾーニングは諸室の配置ということで、動線等に配慮して行っている。今後設計に入った段階では、参考資料で説明しているとおり、運営内容について部会等を設置し検討し、参考資料の図にあるとおり、その結果を基本・実施設計に反映していく。あくまでここでの表現については現在の基本構想の表現にしていきたい。

【鈴木委員】3階になる場合は、大きな懸念があるので、基本構想にももう少し具体的な留意事項を記載した方がよいと考える。

【長沼委員】働いているのでわかるが、食材等を上に上げるというのは相当体に負担が来る。このプランを見る限りは使いにくいと考える。体に支障があって不満が一つでもあれば良い給食はつukれない。子供たちが良かったといえるようなものを作ってもらいたい。

【委員長】今回は一例として3階建てということである。今後、ケーススタディを行うことで、2階建等のプランも出てくると思う。多層階になった時の配慮事項は、一例として留意点をまとめてもらえれば良いのではないかと。基本構想に入れていただきたいという強い要望があり、設計者にもスムーズに意図が伝わるよ

う一文を追加してもらおう形でどうか。

【事務局】P.53のゾーニングの箇所に「なお、複層階となる場合は、作業動線等に配慮し、設計に反映していく」というような一文を入れる。

<事業手法について>

【委員長】事業手法についてご質問、意見はあるか。

【柏木委員】事業手法のどれが適切かというのを検討するのか。

【事務局】事業手法の選定については、今後検討していく。この基本構想では特徴をまとめていることにとどめている。

【委員長】事業手法の決定はいつ頃か。設計者を決める前段階に決めないといけなのではないか。

【事務局】敷地やその他条件が揃った段階で、庁内で検討する。時期については、設計の前段階にはなる。この基本構想・計画は案なので、確定までに検討時間は取れると考える。

【委員長】事業手法について、踏み込んで聞きたいことはあるか。

【柏木委員】本日の議題に事業手法の検討とあったため、決めるのかと思ったが、事務局で決めるとのことを理解した。P.56表4-9「施設の所有・事業終了後」という表現があるが、事業終了とはどのような意味か。

【委員長】PFIの場合は事業期間があるので、それが終了後という理解でよいか。

【事務局】よい。

【委員長】参考までに、この事業手法の中で可能性の高いものとかはあるか。

【事務局】今後、候補地等も決めてからになるので、現時点では判断できない。

【委員長】PFIで給食センターを整備している事例も多い。その場合は、要求水準書等を作るのに時間を要し、相当大変である。設計者の選定方法も多くの応募があればよいが、応募が少ないこともある、事業内容が民間事業者にとって魅力がないと応募者も増えず選定できない可能性もある。検討に時間がかかる。事業手法については、認識するというだけでよいか。

【柏木委員】維持管理運営を民間事業者に任せる場合は、センターで働く調理員等も民間事業者の職員になるのか。

【事務局】建物の維持管理と、給食の運営が委託になる。

【柏木委員】例えば、町の職員と民間の職員が混在するようなことはあるのか。

【事務局】完全に民間事業者だけで運営する訳ではなく、全体のコントロールは行政が行うため、運営に関わることになる。

【柏木委員】現場の職員は、民間委託することで、現在の調理員の仕事が確保されるか心配している。維持管理運営が全て民間になってしまう心配があり、そういったのも考えて決めていただきたい。

【委員長】今の意見は、質問ではなく意見という理解してよいか。

【柏木委員】よい。

【委員長】南アルプスはどの事業方式で行っていたのか。

【事務局】公設公営である。

【長沼委員】南アルプスは平屋なので動線もわかりやすく作られている。学校側を見学した際も、スムーズに問題なく配膳配食できている。

【委員長】公設公営の時のメリットは非常に大きいですが、一方で財政上の課題や公共施設の再編などもあるので、総合的に判断しないと事業手法は決定できないかと思う。最近整備された手法でどのような事業手法がどれくらいあるのか情報を知れるとよいと思う。総合的な判断は事務局で考えていただくのがよいかと思う。

【鈴木委員】川崎市はどの事業方式であるか。

【事務局】川崎市はPFIである。

【委員長】川崎市や浦安市の事例はPFI事業として実施し公開もされている。いづれにしても規模が大きいと記憶している。規模が小さいと事例は少ないのではないかと認識している。

<配送校における工夫>

【委員長】配送校における工夫についてはいかがか。

【鈴木委員】文章中に「対応策（案）」という表現があるが、下の写真なのか、他に何を意味しているか。

【事務局】対応策は、同ページの下部に記載している写真の内容である。案文がある訳ではなく、一部の例示であるため、（案）は削除する、また、文中に「様々な懸念が想定」とあるが、「様々な課題が想定される」に訂正させていただく。

【柏木委員】教職員の立場の意見として、中学校給食の課題としては、給食の運搬の安全性もあるが一番は時間である。今の時間割だと中学校は給食時間が20分しかないので、このままでは実施は難しいと考える。いろいろなところに影響が出てくるので、時間割に影響が出ることを前提に、現場の意見をたくさん聞いて中学生や学校がやりやすい様に検討してほしい。

【事務局】時間割については大きな問題の一つと捕らえており、十分に学校と協議の上、決めさせていただく。

【委員長】学校にある従来の小荷物昇降機は使えないという理解でよいか。

【事務局】従来の設備を現行の運営方法で使えるかは不明である。

【委員長】搬入のために小荷物昇降機を作るよりも運んだほうが早いというものもあるわけですね

<整備スケジュールについて>

【委員長】整備スケジュールについて、ご意見あるか。設計が15ヶ月で十分あるという感じもある。

【鈴木委員】スケジュールがタイトで、設計が短くなってしまうのは不安である。

【委員長】給食センターの場合は、基本設計と実施設計はセットで行うということだよいか。

【事務局】スケジュールはそれを想定している。

【委員長】PFI の場合は事業計画も含めて 20 年くらいのプラン、リスクをだして行うので、要求水準書等の準備は相当大変と認識している。寒川町では PFI の事例はないという理解でよいか。

【事務局】よい。

【岩井委員】専門外なので特に意見はないが、運営はこれからなので、詰めていかなければいけない。

現場の人たちが今後 10 年後 20 年後の給食のあり方をどのようにとらえて、その意見をどれだけ反映できるかは、今後の作業になってくる。

町の職員が気にしている雇用が継続するのか、保護者にとっては給食が継続されることがどれだけ担保されるか、そして今の自校方式のプラスアルファをどれだけ積み重ねられるか、について今後具体的にしっかりと話をしていくことが重要である。

【古山委員】一番気になっているのは、敷地である。

複層階になれば、懸念事項が増えるので、あえて、そのような敷地を選定しないでもよいのではないか。1, 2 年延びてでも広い敷地を確保し良いものを作ってほしい。

場所によって施設は変わってしまうし、理想とされている平屋ができる土地を前提に考えてもらいたい。

候補の県の企業庁所有地の土地も 20 年の契約期間というようなことも言っていたが、先のことを考えるのであれば別の土地がよい。

【長沼委員】給食センターは、工場扱いになるのでそのような土地に建設しないといけませんが、子どもに関する施設であるので、町民としては、住宅街にあって許容するのではないかと思う。

私が入った頃に比べて、給食は進歩してきた。当初は給食を作って提供することができればよいという感じだったが、最近、特に衛生面や栄養面でよくなっている。栄養士や調理員も考えが全く変わってきた。子供たちが残食を増やさないように給食をつくっているの、どこの給食もととてもおいしく作っている。今の、直営自校の給食をそのまま存続できる給食センターになることが願いである。

【柏木委員】皆さんの話を聞いていると、やはり現在の候補地は良くないと思う。土地は妥協しないで、整備してほしい。

【鈴木委員】P. 50 の表 4-3 の神奈川県企業庁所有地だけ全部○がついているが、複層階を想定しているため、エレベーターの配置等で建設費用も高くなるし、ここでは、土地代のことも書かれていない。しかし、評価が○になっているのはどうかと思った。面積も 4,000 m²と書いてあるが実際使えるのは 1,700 m²である点も評価されていない。

やはり子供たちのための学校給食センターだと思っているので、良いものを作ってほしいと思う。

【委員長】今までも含めて委員会の中での議論を踏まえ意見を出していただきました。この中で事務局でも適正な検討をしていただき、なるべく低層階で実現で

	<p>きる検討をお願いしたい。</p> <p>また、事業手法についてもかなりタイトなスケジュールになるかと思うが、このあたりについても慎重に検討していただければと思う。</p> <p>【鈴木委員】参考資料1で具体的なことが決まっていたら教えてほしい。</p> <p>【事務局】検討中なので決まり次第、関わる方々に周知していく。</p> <p>3. その他</p> <p>【事務局】外部検討委員会で議論いただく内容は今回で一通り終わった。今後の外部検討委員会は、必要に応じて開催する可能性もある。</p> <p>【委員長】副委員長が欠席だが意見があればどうしたらよいか。</p> <p>【水越課長】ご意見があれば、後で聴取し整理する。</p>
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 寒川町学校給食センター整備基本構想・計画 ・参考資料1 今後の流れの整理
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>出席委員全員により承認（令和元年6月4日 確定）</p>